

A (国語) 採点基準

「採点基準」で処理できない場合は、各校の統一見解で採点されたい。

問題	8点 1				12点 2		12点 3											
					(一)	(二)	(三)	(四)	(一)	(二)	(三)	(四)	(五)					
配点	八点				二点	二点		二点	二点	二点	二点	二点	二点	二点				
正答例	⑦	⑤	③	①	①	ウ	ウ	エ	イ	ア	C	a	イ					
	⑧	⑥	④	②								b		ア・エ	c	ウ・オ		
責任	告(げる)	げきれい	かがや(く)	と(げる)	ぼっかり心に穴が空いていくようだった (十八字)	ウ	エ	イ	ア	C	a	イ	イ					
散策	敬(う)	はんも			壮太はぼくがどう過ごせばいいかわからなくなる と思っいて、壮太が作ってくれた紙飛行機を飛 ばしている間、少しは時間を忘れることができそ うだ(と考えるようになった。) (六十八字)							b	ア・エ	ウ・オ				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 各一点。</li> <li>* 字体・字形については、平成二十八年二月二十九日「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」(文化審議会国語分科会)に基づいて採点されたい。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 文章の展開に即して登場人物の心情を読み取る力をみる問題である。次のような観点に基づいて採点されたい。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壮太がいなくなった後のぼくの気持ちについて、直喩を用いて表現している部分を抜き出しているか。</li> <li>・ 本文中から十字以上二十字以内で抜き出しているか。</li> </ul> </li> <li>* 正答例に示す部分が含まれている一文から適切に抜き出していれればよい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 文章の展開に即して登場人物の心情を読み取り、的確にまとめる力をみる問題である。次のような観点に基づいて採点されたい。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壮太がいなくなった後のぼくがどのようなようになるか。</li> <li>・ 壮太が思ったか、ふれて書きあらわしているか。</li> <li>・ 「……と考えるようになった。」につながるように本文中の言葉を使って六十文字以上八十文字以内で的確にまとめているか。</li> </ul> </li> <li>* 同様の趣旨であればよい。</li> <li>* 字数の不足・超過については一点を減じる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 各一点。</li> <li>* b、cについてはそれぞれ両方正答の場合のみ一点。</li> <li>* b、cそれぞれ順不同。</li> <li>* 文章の展開に即して内容をとらえ、的確にまとめる力をみる問題である。次のような観点に基づいて採点されたい。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のレベルよりちよっとだけ上の目標を立てることが大事であることについて、筆者の考えを的確にとらえているか。</li> <li>・ 本文中の言葉を使って三十五字以上五十五字以内で的確にまとめているか。</li> </ul> </li> <li>* 同様の趣旨であればよい。</li> <li>* 字数の不足・超過については一点を減じる。</li> <li>* 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。</li> </ul>					<p>集中力や記憶力、学習機能などが高まるので、結果として、自己成長が引き起こされ、 (三十九字)</p>				

(裏面へ続く)

合計 五十点	10点			8点			
	(三)	(二)	(一)	(四)	(三)	(二)	(一)
	六点	二点	二点	二点	二点	二点	二点
	(例) 私は、読書の良いところは、想像力を養えるところだと思いません。なぜなら、想像力を養うことはよい人間関係を築くことにつながると考えるからです。私は読書をする時、読み取った表現から登場人物の姿や表情を想像したり、登場人物の発する言葉や態度から、その人物の気持ちを推測したりします。このようにして養われた想像力は、現実の人間関係においても、相手の気持ちを大切に考えて接することにつながっていると思います。 (百九十九字)	ウ	イ	ウ	商人の一銭を惜しむ心、切なり  (十四字)	イ	いわば
	200	100					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自分の考えをまとめ、的確に伝わるように適切に書きあらわす力をみる問題である。次のような観点に基づいて採点された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読書の良いところは何だと考えるかについて、自分の考えを明確に書いているか。</li> <li>・ 自分が読書の良いところと考える理由を明確に書いているか。</li> <li>・ 自分の考えが的確に伝わるように、書きあらわしているか。</li> </ul> </li> <li>* 出題の趣旨に合っていればよい。</li> <li>* 字数の不足・超過については、二十字以内の場合は一点を減じる。二十字を超える場合は二点を減じる。</li> <li>* 表現に関する誤り（文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等）、表記に関する誤り（文字、仮名遣い、句読点、符号の使い方、原稿用紙の使い方等）が二か所あるものは一点を減じる。三か所以上あるものは二点を減じる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 文章の展開に即して内容をとらえる力をみる問題である。次のような観点に基づいて採点された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商人がわずかなお金を大切にしていることが書かれている部分を抜き出してあるか。</li> <li>・ 文章中の古文から十五字以内で抜き出しているか。</li> </ul> </li> <li>* 正答例に示す部分が含まれている一文から適切に抜き出してよい。</li> </ul>		